

山口情報芸術センター [YCAM] 展覧会

エキソニモ+YCAM 共同企画展 メディアアートの輪廻転生

2018年7月21日(土)～10月28日(日) 10:00～18:00 入場無料
山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ

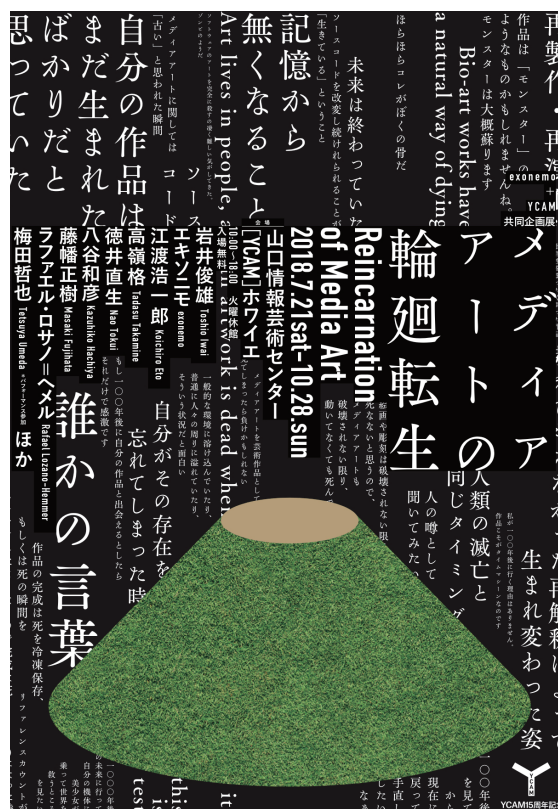
「作品の死」から考える、文化継承の新たなカタチ アーティストと思考するメディアアートのこれから

山口情報芸術センター [YCAM] は、アートユニットのエキソニモを共同キュレーターに迎え、展覧会「メディアアートの輪廻転生」を開催します。

エキソニモは、1996年の結成以来、バーチャルの世界と実世界の境界線や、テクノロジーと人間との関係性をユーモア豊かに表現してきました。YCAMでは、2003年の開館記念展への参加をはじめ、2006年と2011年には新作を制作・発表するなど、YCAMに関わりの深いアーティストです。

本展では、エキソニモとYCAMの議論から生まれた「100年後のメディアアートの姿」というアイデアを起点に、複数のアーティストが参加し、「死」を迎えた作品を展示する「メディアアートの墓」をつくります。これを通じて、芸術表現をはじめとする「文化」を未来に創造的に伝える可能性を模索します。

YCAMの開館から15周年という節目の年に開催する本展は、YCAMがこれまで取り組んできたメディアアートの本質について、改めて思考するきっかけとなるでしょう。ぜひ、この機会にご覧ください。



「メディアアートの輪廻転生」メインビジュアル
(デザイン：加藤賢策 / LABORATORIES)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM]

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp

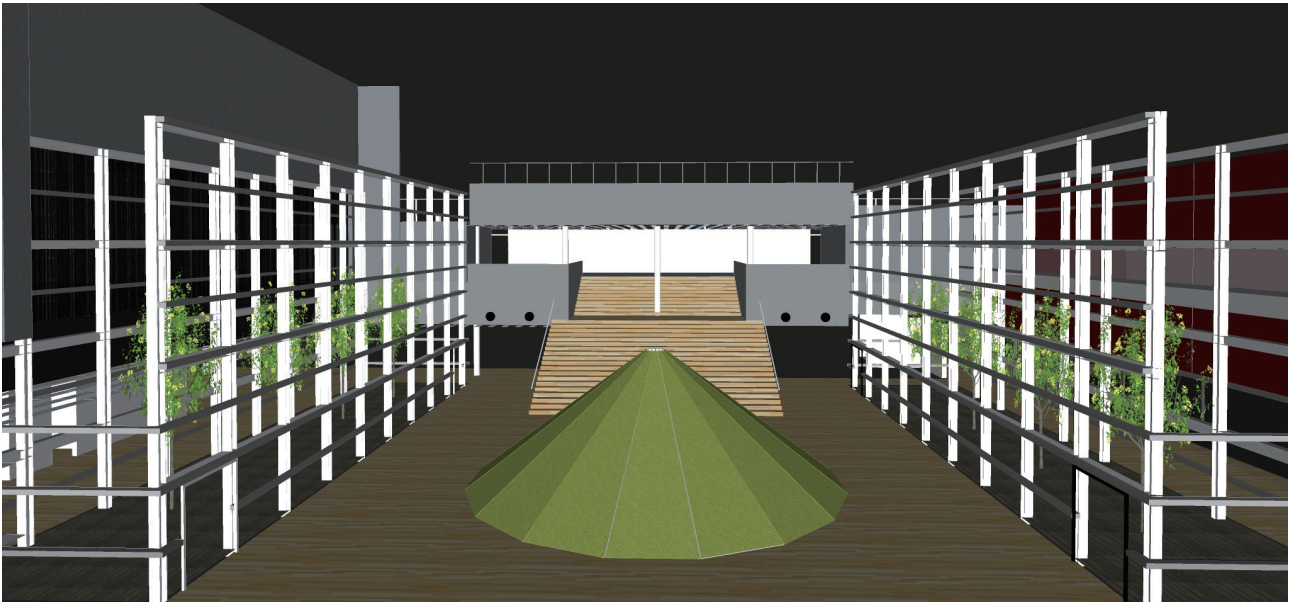
〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

作品はどうやって終わりを迎えるのか？—アーティストとともに考える作品の寿命と未来



YCAMのホワイエに出現する「メディアアートの墓」のイメージ図

メディアアートは、コンピュータや映像・音響機材を使用していることが多く、機材の故障や技術環境の変化によって動かせなくなるなど、作品を未来に残していく上で多くの困難を抱えています。現在、世界中の美術館や研究機関でさまざまな保存修復の取り組みがなされていますが、作品のつくり手であるアーティスト自身は作品の残し方についてどのように考えているのでしょうか。

本展は、YCAMと関わりが深い100名を超えるアーティストに実施したアンケートを元に、これまで多くの美術館で議論されてきた、作品をオリジナル状態になるべく保ちながら保存修復する観点とは異なる視点で、作品の「死」について考え、もし作品が「死」を迎えるならば、かたちを変えて「転生」させて未来に伝えることは可能なのかをアーティストとともに模索します。アートユニット「エキソニモ」との共同企画により、YCAM館内に古墳のような形状をした展示空間「メディアアートの墓」をつくり、その中に「死」を迎えた作品群を展示します。展覧会を通じて、変化し続ける環境の中で作品を残すことの意味について考え、アーティストならではの視点から、芸術表現をはじめとする「文化」を創造的に継続する新たなかたちを考える機会を創出します。

■ 参加アーティスト

- ・岩井俊雄
 - ・エキソニモ
 - ・江渡浩一郎
 - ・高嶺格
 - ・徳井直生
 - ・八谷和彦
 - ・藤幡正樹
 - ・ラファエル・ロサノ＝ヘメル
 - ・梅田哲也 ※パフォーマンス参加
- ほか

メディアアートの輪廻転生とは？—エキソニモからのメッセージ



エキソニモの千房けん輔(左)と赤岩やえ(右) / Photo by Niko

■ エキソニモ

千房けん輔と赤岩やえによるアートユニット。
1996年にインターネット上で活動を開始し、以降、インターネットと現実空間、デジタルとアナログを自由に行き来しながら、ユーモアのある切り口と新しい視点を携えた実験的なプロジェクトを数多く手がける。YCAMでは、2003年の開館記念展に参加、2006年と2011年には新作を制作・発表している。2006年、《The Road Movie》がアルス・エレクトロニカでゴールド・ニカ賞を受賞。2012年に組織したIDPWによるイベント「インターネットヤミ市」は、世界約20都市で開催されている。2015年、拠点をニューヨークに移し、NEW INCのメンバーなどを経て、現在活動の領域を拡大中。

exonemo.com

未来を照らし出すと捉えられている“メディアアート”の寿命は実は短い。機材を作品に含んでいるだけに壊れたら動かなくなってしまう。OSがアップデートしただけで動かなくなる作品も多い。その維持の難しさは、近年世界中の美術館でホットなトピックになっている。

そんな儚いメディアアートからなる「アートの魂のありか」について、新しい切り口で考えてみることもできるのではないだろうか。今年15周年を迎えるYCAMのスタッフたちとの議論の中から今回のテーマが浮かび上がってきた。

「メディアアートの輪廻転生」とは？過去にYCAMと関わってきたアーティストへと投げかけた問いへの返答から、それぞれが持つアートの死生観を紐解きます。それは、アートだけの問題ではなく、私たちが生きていく中で大切にすべき“価値”とはなんだろう、それは“どこ”にあるんだろう、という普遍的な問いへとつながってくるかもしれません。常に新しく前に進む事が求められるメディアアートが、いや、現代の私たちが、ふと足を止め少し考えを深めてみる機会になれば、と思っています。

—エキソニモ

開催概要

エキソニモ+ YCAM 共同企画展 「メディアアートの輪廻転生」

2018年7月21日(土)～10月28日(日) 10:00～18:00

火曜休館 入場無料

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

助成：公益財団法人花王芸術・科学財団

「メディアアートの墓」構造デザイン：慶應義塾大学SFC鳴川肇研究室

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

■ 関連イベント

オープニングトーク

7月22日(日) 11:00～ 入場無料

梅田哲也によるパフォーマンス

10月13日(土) 18:30～ 入場無料

イベントの詳細・最新情報につきましては
では展覧会特設サイトをご覧ください。

URL：

<http://rema.ycam.jp/>

同時期開催イベント

コロガル公園コモンズ

YCAMが2012年から手がけている、多種多様なメディアテクノロジーを埋め込んだ子ども向けの遊び場「コロガル公園コモンズ」の最新版です。

2018年7月21日(土)～10月28日(日) 10:00～18:00

会場：YCAMスタジオB 火曜休館 入場無料

sound tectonics #21**NON-OPTIMIZED SOUND**

国内外の最先端のサウンド・アート、音楽表現を紹介するライブコンサートシリーズ「sound tectonics」の第21弾。今回は、3組のミュージシャンによるライブ・コンサートを開催します。

2018年7月21日(土) 16:00開演

会場：YCAMスタジオA

出演：goat、悪魔の沼、バードン木村

※チケット料金につきましては、(www.ycam.jp) をご確認ください。

真夏の夜の星空上映会

隣接する中央公園で開催する毎年恒例の野外上映イベントです。涼しい夜空の下で、お友だちやご家族と映画をお楽しみいただけます。

2018年8月10日(金)～12日(日) 各日19:30頃から

会場：山口市中央公園